

# 第1部 東京都からの情報提供

- (1) ポートヌィク・トーキョー活動報告
- (2) 活動から見えてきた課題と対応
- (3) 今後の取組の方向性
- (4) 質疑応答

## 第1部 東京都からの情報提供

### **(1) ポートヌィク・トーキョー活動報告**

- (2) 活動から見えてきた課題と対応
- (3) 今後の取組の方向性
- (4) 質疑応答

# 東京都における支援の流れ

身元保証人がいる避難者

ウクライナ避難民  
ワンストップ  
相談窓口

都の  
一時滞在ホテル

都営住宅  
入居

入居後

様々な主体による支援

国際交流  
協会

区市町村

東京都

NPO

社会福祉  
協議会

東京都

つながり  
創生財団

日本  
YMCA  
同盟

ポプートヌィク・トーキョー  
Попутник Токио

東京都ウクライナ避難民  
マッチング支援事業

身元保証人がいない避難者

国の一時滞在ホテル

マッチング  
成立

都営住宅  
入居

入居後

様々な主体による支援

国際交流  
協会

区市町村

東京都

NPO

社会福祉  
協議会

東京都

つながり  
創生財団

日本  
YMCA  
同盟

ポプートヌィク・トーキョー  
Попутник Токио

東京都ウクライナ避難民  
マッチング支援事業

## 東京都内のウクライナ避難民の人数 (入管庁提供データより都が集計)

全国 11/1現在	都内 10/31現在
2,076※1	519※2

※1 全在留者数  
 ※2 住居地未届出、「短期滞在」の者で入国時に都内を連絡先としている者を含む

区部	千代田	中央	港	新宿	文京	台東	墨田	江東	品川	目黒	大田	世田谷	渋谷	中野	杉並	豊島	北	荒川	板橋	練馬	足立	葛飾	江戸川
	6	15	43	32	40	36	4	10	8	9	7	18	8	5	22	6	24	2	13	2	52	32	27

市町村部	八王子	三鷹	青梅	府中	昭島	町田	調布	日野	国分寺	国立	福生	狛江	西東京
	8	30	1	11	26	4	3	3	5	3	2	1	1

以下、入管庁へ確認した事項

※対象：入国時点で避難目的であることが確認できた人

※住所：本人の申し出ベースのため、その本人が確実にその場所にいるどうかは把握していない

## 生活文化スポーツ局の支援事業

- 2022年11月現在、日本に避難したウクライナ人は約2,000人、そのうち東京都には約500人が居住
- 都は、都営住宅に約300人を受け入れるほか、区市と連携して避難者の生活面を支援

### 「ウクライナ避難民ワンストップ相談窓口」の開設

→ 東京都つながり創生財団にて「TMCナビ」を拡充し、避難者及び支援者向け相談窓口を運営

- 住まいに加え、言葉、医療、教育、就業など、様々な困難を抱えている方が多い
- 長引く避難生活の中で孤立の危機、メンタル面の不調も

**避難者の複雑な困難を把握し、各々の状況に寄り添った支援が必要**

### 支援事業「ポプートニク・トーキョー」の開始

→ 都・つながり創生財団・日本YMCA同盟が連携、避難者への伴走と支援策とのマッチングを実施


# ポポートヌィク・トーキョーとは

## ○ 実施主体

東京都 ・ (一財) 東京都つながり創生財団 ・ (公財) 日本YMCA同盟の協働

### 実施体制


各主体が得意分野に応じて  
役割分担し、連携・相互補完



みつかる。つながる。よくなっていく。


- 避難者の状況把握、課題整理、マッチング支援
- 交流の機会の企画・実施

三者  
協定



一財団法人  
東京都つながり創生財団  
Tokyo Metropolitan Foundation "TSUNAGARI"

- 国際交流協会や外国人支援団体等との連絡調整
- ワンストップ相談との連携
- つなぎ先や都への言語支援



東京都  
(生活文化スポーツ局)

- 都庁各局施策との連携
- 国・区市町村との連絡調整
- 区市町村をはじめ支援主体と情報共有等の機会の設定

## ポプートヌィク・トーキョーとは

### ○ ミッション

避難者の孤立、孤独を防ぎ、地域で自立して安定した日常生活を送れるように、それぞれの状況に寄り添いながら支援を行う

※ П о п у т н и к (ポプートヌィク)…ウクライナ語で「寄り添う伴走者」

### ○ 主な取組

- ① 避難者への**生活オリエンテーション**を通じた情報提供
- ② 避難者への**個別訪問、対面による聞き取り**を通じたニーズや状況の把握
- ③ 把握した困りごとに対し、**区市町村・支援団体等と連携し、支援策につなぐ**
- ④ 課題や支援方法について区市町村等との**情報共有・意見交換の機会を設定**
- ⑤ **交流イベントを実施**し、支援の輪を広げる

※ 支援の対象は、都営住宅に住む方に限らない

## ① 生活オリエンテーションの実施

### ○ 概要

- 都営住宅に入居する前に「一時滞在ホテル」で日本での生活に関する情報を提供
- 7月13日より、2週間に1回の頻度で実施
- 当初は都の一時滞在ホテル宿泊者のみを対象としたが、それ以外の避難者にも拡大

### ○ 内容

- ゴミの分別や熱中症対策などの基本情報
- スーパーやドラッグストアの活用方法
- 仕事の探し方、相談先の情報
- 参加者からの質問応答 など



基本的な情報の提供によってスムーズな生活のスタートをアシストするとともに、入居前から避難者につながることで初期段階でのニーズの把握・寄り添いにつなぐ



## ② 個別訪問、対面による聞き取り（マッチング）

### ○ 概要

- 都営住宅に避難している方を中心に、週に10～20件ほど個別訪問を実施
- 聞き取ったニーズや困りごとを都やつながり創生財団にも共有し、必要な支援につなぐ
- 困難を抱える避難民を含め、支援につないだあとも継続して寄り添い、見守りを行う

### ○ 主な支援のつながり先

- 【日本語】 区市町村・国際交流協会から地域の日本語教室、国のオンライン講座
- 【就業】 ハローワーク
- 【教育】 区市町村、子ども・学習支援のNPO
- 【医療・メンタル】 医療機関・相談機関
- 【物資】 FRESCや外国人支援や地域福祉のNPO

マッチング内容（11月15日時点）

相談分類	件数
物資	32
日本語	30
就業	29
手続き	37
財政	14
教育	37
医療・メンタル	34
生活・やりがい	12
その他	19

計 244件

## ② 個別訪問、対面による聞き取り（マッチング）

### ○ 事例

- 就業の希望を持つ方に対し、ハローワーク・その後の面談に同行した
- 前期高齢者からコルセット（腰・足）の希望があり、自治体につないだ  
→ 介護保険で提供
- 体調の不調を訴える方に対し、病院を探し、予約、当日の受診付き添いをした
- 行政から送付される通知や払込み書などの開封・内容確認や、行政への申請手続きをサポートした（様式入手や翻訳）



## ② 個別訪問、対面による聞き取り（マッチング）

### ○ 事例

- 国のオンライン日本語教育プログラムを希望する方を自治体の窓口につないだ
- 本格的に日本語を学びたい方に、奨学金制度などがある日本語学校を紹介
- 日本語教育を希望する児童をNPOの教室につないだ
- 自治体や国の日本語教室についていけなくなった方について、自治体に状況を伝え、自治体のボランティア日本語教室等につないだ



## ② 個別訪問、対面による聞き取り（マッチング）

### ○ 事例

- 学校での言語サポートが適用されていなかった公立中学生について、自治体に連絡  
→自治体から学校に働きかけてサポート可能に
- 中学生相当の児童の就学先について、ウクライナと日本の教育システムの違いを説明しながら、本人・家族の希望を踏まえた選択肢を提案した
- 生活に必要な備品などは、ニーズを聞き取って、入手につながる情報提供を行った
- 17歳の家族を呼び寄せたが、未成年のため、単独で民間・都営住宅への入居ができず、調整が難航した  
(16歳までは単独での出国は認められない)



### ③ 区市町村との連携 ～支援先リストの作成・提供～

- 避難者が利用することができるツールや支援策について、「相談受付」や「住居」、「日本語教育」など分野別にまとめ、リストとして提供

都内の支援団体の一覧 -ウクライナ避難民への対応-

【子どもの支援】 ※ 日本語教育・教科学習・居場所・相談など

令和4年5月26日

団体	支援内容	属性	区市町村	問い合わせ先	ウクライナ避難民向け支援
東京都教育委員会	ウクライナからの子ども・若者の受け入れに関する窓口、ウクライナの子供を支援するための支援策の提供など。また、ウクライナからの子ども・若者の受け入れに関する相談窓口の提供など。	官公庁	東京都	各支庁の連絡先	
東京都外国人労働者支援センター	ウクライナからの子ども・若者の受け入れに関する窓口、ウクライナの子供を支援するための支援策の提供など。また、ウクライナからの子ども・若者の受け入れに関する相談窓口の提供など。	官公庁	東京都	各支庁の連絡先	
東京都外国人労働者支援センター	ウクライナからの子ども・若者の受け入れに関する窓口、ウクライナの子供を支援するための支援策の提供など。また、ウクライナからの子ども・若者の受け入れに関する相談窓口の提供など。	官公庁	東京都	各支庁の連絡先	

都内の支援情報の一覧 -ウクライナ避難民への対応-

令和4年7月6日

団体	内容	費用	対応言語	区市町村	問い合わせ先	ウクライナ避難民向け支援
<b>相談受付</b>						
東京府ウクライナ支援センター	ウクライナ避難民の相談窓口 月曜日から土曜日の午前10時から午後4時まで（祝日は休）	無料	ロシア語、日本語、英語、ウクライナ語、英語	東京都港区	〒105-8561 東京都港区赤坂1-1-1 赤坂サカズビル5F TEL: 03-6259-1227 E-mail: support@gaia.or.jp URL: https://www.gaiacenter.or.jp/	ウクライナ支援センター
国際移動支援センター (IMC)	国際移動支援センター (IMC) 2023年7月1日より、ウクライナからの避難民の受け入れに関する窓口として、日本語、英語、ウクライナ語、英語に対応。また、ウクライナからの避難民の受け入れに関する相談窓口の提供など。	無料	【日本語】 英語、フランス語、日本語、ウクライナ語 【英語】 日本語、ロシア語、ウクライナ語	公営	【日本語】 TEL: 03-3344-3747-702 E-mail: contact@imc.or.jp 【ウクライナ語】 TEL: 080-8240-8148 【英語】 TEL: 03-6343-6066 URL: https://imc.or.jp/	ウクライナからの避難民の受け入れに関する窓口
<b>住居</b>						
東京府	住居の提供	無料	ロシア語、英語、ウクライナ語、英語	東京都港区	ウクライナ避難民の受け入れに関する窓口 〒105-8561 東京都港区赤坂1-1-1 赤坂サカズビル5F TEL: 03-6259-1227 E-mail: support@gaia.or.jp	ウクライナ支援センター
<b>生活資金</b>						
日本財団	生活資金の提供	-	日本語、英語、ウクライナ語	公営	日本財団ウクライナ避難民支援（国際移動支援センター） 連絡先: 03-6981-4312 E-mail: support@imc.or.jp TEL: 03-6981-4312 URL: https://www.imc.or.jp/	ウクライナからの避難民の受け入れに関する窓口（ウクライナ支援センター）
<b>言語支援</b>						
ウクライナ支援センター	日本語教育（日本語学習）	無料	日本語、ウクライナ語	公営	〒105-8561 東京都港区赤坂1-1-1 赤坂サカズビル5F TEL: 03-6259-1227 E-mail: support@gaia.or.jp	ウクライナ支援センター

### ③ 区市町村との連携 ～生活ガイド・防災リーフレット等の作成～

- 生活や防災など、避難者全てに知っていただきたい情報をまとめたリーフレットや、日本語教育・通訳・ベビーシッターなどの利用につながるチラシなどをウクライナ語、ロシア語で作成



【防災リーフレット】



【生活ガイド】

**【До уваги біженців із України】**  
**Допомога із бебісітерами**  
 \*Державна Метрополіт в Україні в партнерстві з державою (за підтримки Бебісітерами)\*

Родина, що мають маленьких дітей (від 0 до 12 років), можуть безкоштовно скористатися послугами бебісітерів.  
 Для того, щоб скористатися допомогою, потрібно подати заявку в Управління Токійської метрополіт. Перейдіть на нижченаведену веб сторінку для подання заявки:  
<https://www.fukushinoken.metro.tokyo.lg.jp/kodomo/hoiku/bs/Ukraine-shien.html>

**Зміст послуг**

- Хто може отримати допомогу**  
 Батьки (опікуни) дітей до 12 років (включно по останній день грудня наступного року), що були вимушено вислані з України і перебувають у законній виїзній частині Японії в Росії в Україні.
- Ліміт часу, можливого для використання**  
 22 години на місяць.
- Абонементська плата**  
 Платити абонементську плату не потрібно, абонементська плата не контролюється.
- Виконавці послуг**  
 Підприємство, яке надає послуги бебісітерів, затверджені метрополіт.

**Зв'язок:** Управління соціального забезпечення, відділ допомоги із доглядом за дітьми, уповноважений із питань допомоги у вихованні дітей  
**03-5320-4131**  
 ※Якщо виклик буде здійснено не японською мовою, із вами зв'яжеться перекладач.

【ベビーシッター利用支援制度チラシ】

※チラシのPDFデータについては、後日生活文化スポーツ局のウェブサイトに掲載予定です。

### ③ 区市町村との連携 ～日本語教育・通訳支援チラシの作成～

- 生活や防災など、避難者全てに知っていただきたい情報をまとめたリーフレットや、日本語教育・通訳・ベビーシッターなどの利用につながるチラシなどをウクライナ語、ロシア語で作成

勉強方法	情報の掲載サイト	ウクライナ語 українською	ロシア語 Російською	日本語 Японською
<b>住んでいる地域の日本語教室で勉強する</b> заняття на курсах японської мови в районі вашого проживання	東京日本語教室サイト Сайт школи японської мови в Токіо	---	---	
<b>オンライン日本語教育プログラムに参加する</b> Участь в онлайн-програмі вивчення японської мови	国のオンライン日本語教育プログラムのコース Національна програма онлайн-курсів з вивчення японської мови 受講は後者の窓口の人に相談してください Для проходження курсу, будь ласка, зверніться до відповідальної особи в муніципалітеті. オンラインで開講している日本語教室の一覧 Перелік курсів японської мови, що пропонуються онлайн.		---	
<b>ウェブサイト日本語を勉強する</b> Вивчайте японську на сайті	つながる ひろがる にほんごでのくらし Практична японська: спілкуйтеся та живіть повним життям 『いってり 生活の日本語』入門 ІРОДОРІ Японська для життя в Японії «Вступний рівень»			

【日本語学習の支援情報をまとめたリーフレット】

ウクライナ避難民支援ご担当者さまへ 2022.11.24

**ウクライナ避難民支援に利用できる  
通訳サービスのご案内**

**東京都つながり創生財団  
ウクライナ避難民ワンストップ相談窓口  
遠隔通訳（電話・Zoom）**

☎ 03-6258-1227

受付日時：平日10時～16時（土・日・祝・年末年始除く）  
 対応言語：ウクライナ語、ロシア語、英語 ほか  
 利用料：無料（通話料金はご自身の負担となります）  
 詳細は裏面をご覧ください！➡

**日本財団ウクライナ避難民支援用  
無料電話通訳サービス**

☎ 03-6626-3474

受付日時：毎日8時～20時（土・日・祝含む）  
 対応言語：ウクライナ語、ロシア語、日本語  
 利用料：無料（通話料金はご自身の負担となります）

**多言語音声翻訳アプリ  
「VoiceTra（ボイストラ）」**

対応言語：ウクライナ語、ロシア語、英語 ほか  
 ダウンロード・利用料：無料  
 （データ通信の利用料はご自身の負担となります）

【通訳支援情報チラシ】

### ③ 区市町村との連携 ～東京都各局が実施する支援策～

- 東京都各局において実施している支援策とのマッチングも推進  
ベビーシッター利用支援（無償でのベビーシッターサービス提供）  
こころの相談（TMCナビと精神保健福祉センターとの連携推進）  
都営交通一日乗車券の提供 など
- 都営住宅における交流イベント「東京みんなでサロン」の活用  
サロンの場を活用し、区市町村から情報提供等を実施





## ④ 情報共有・意見交換の機会の設定

### ○ ウクライナ避難民支援連携フォーラム

- ・ オリエンテーションや個別訪問により集めた課題、国や区市町村との連携・調整状況、活用可能な支援策など、ポプートヌィク・トーキョーの事業報告と情報共有を図り、意見交換することを目的としたフォーラムを開催

#### 【第1弾】

8月2日（火）開催

区市町村・国際交流協会を対象に、  
ポプートヌィク・トーキョーの事業説明・受入自治体からの事例共有を目的に開催

#### 【第2弾】

11月24日（木） ※ **本フォーラムです**

呼びかけの対象範囲を広げ、広くウクライナ避難者支援に携わる団体に  
ポプートヌィク・トーキョーの事業報告や課題、情報共有と意見交換を図る



今後も随時開催し、国・区市町村・支援団体等の情報収集・意見交換の場として東京都域全体の取組を底上げするとともに、支援の長期化に備えていく

## ⑤ 交流イベントの開催 ～FC東京との連携～

### ○ FC東京×ポプートヌィク・トーキョー 避難民観戦招待

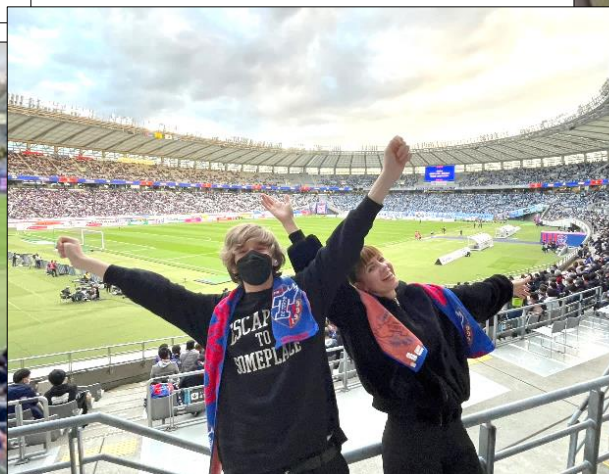
- ◆ 日程：2022年11月5日（土）
- ◆ カード：Jリーグ第34節（最終戦）FC東京×川崎フロンターレ@味の素スタジアム
- ◆ 参加 避難者・支援者：24名、アテンド・同行等：9名
- ◆ コンセプト：  
FC東京とホームタウン東京都が連携し、ウクライナから避難されている方々とその支援者に、スポーツを通じて交流し、日本での生活をより楽しむ機会を提供

- 避難者の方々は熱心に観戦し、試合終了後は記念撮影を行う姿が多く見られた
- 家族以外の避難者と初めて会う参加者もあり、ウクライナ語で交流を楽しんでいた
- 参加家族からは「ありがとうございました。とても楽しい試合でした。**ポジティブな感情をたくさん持つことができました。**皆様に感謝をお伝えください」とのメッセージ



## ⑤ 交流イベントの開催 ～FC東京との連携～

当日の様子



Ukrainian evacuees welcomed at FC Tokyo season finale (THE JAPAN TIMES)

<https://www.japantimes.co.jp/sports/2022/11/14/soccer/j-league/fc-tokyo-ukraine-invitation/>

